

萩原良昭

これで、ストーブで もちでも焼ければ
最高なんだけど。

そこでいつも感じる。

家で ふとんの中で 寒いからとて
もぐり込んで寝てるより、あたっている方が
学校でストーブに あたっている方が
電気代もかかるんし、体全体を充分温め、
また、学校の方が かえって、熱いくらいや。
ああ、ありがたや、ありがたや。

掃除終了後、図書館へ行く。
「何かいい読むやつないかなあ。」
と、本を眺める。一行に見当たらず。

四時九分のバス（旧型）。

五時から六時は テレビ、「恐怖のミイラ」。
その後、夕食で、七時から九時まで またテレビ、歌。

京太に万年筆の返還をせがまれる、遂に帰す。
鉛筆で書くことにする。
鉛筆の方が 整つて見える。

風呂に入り、すぐさま寝る。
きのう、寝た時間が短い。
勉強には手をつけず、すぐコックリ。

鉛筆で書くことにする